TOSHIBA

東芝液晶データプロジェクター取扱説明書 ^{形名} TLP790 TLP791 (書画カメラ付) TLP791のJJ TLP791のJ (書画カメラ付)



TLP790/TLP790MJ



安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この 取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全 に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。 次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守り ください。

[表示の意味]

| 表示 | 表 示 の 意 味 |
|-----|---|
| ⚠警告 | "誤った取扱いをすると人が死亡する、または重傷 ^{*1} を負う可能 性のあること"を示します。 |
| ⚠注意 | "誤った取扱いをすると人が傷害 ^{*2} を負う可能性、または物的損害 ^{*3} のみが発生する可能性のあること"を示します。 |

- ※1:重傷とは、失明やけが、やけど(低温・高温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残 るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
- ※2:傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。 ※3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

[図記号の説明]

| 図記号 | 図記号の意味 |
|-------------|--|
| \bigcirc | 禁止(してはいけないこと)を示します 。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
| | 指示する行為の強制(必ずすること)を示します 。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |
| \triangle | 注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 |





3

⚠警告

◆ご使用になるとき

■修理・改造・分解はしないこと

火災・感電の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご 依頼ください。 分解した場合、保証やその他のサービスは受 けられません。





■通風孔などから異物を入れないこと

金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様のいる環境ではご注意ください。





■水にぬらさないこと

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、 海岸、水辺での使用は特にご注意ください。





■雷が鳴りだしたら、本体、接続ケーブル、 電源プラグなどに触れないこと

感電の原因となります。



■電源コードは

- ●傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと
- ●引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと
- ●無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと

火災・感電の原因となります。



■点灯中はレンズや通風孔をのぞかないこと

点灯している状態でレンズおよび通風孔をの ぞき込まないでください。強い光が出ていま すので視力障害などの原因となります。





(つづく)





◆お手入れについて

■電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミ やほこりが付着している場合は、電源プ ラグを抜きゴミやほこりをとること

電源プラグの絶縁低下により、火災の原因と なります。





■ランプ交換は必ず本機専用の TLPL79 (別売)を使用すること

TLPL79以外を使用すると故障や破損して けがの原因となります。また、古いランプは 使用しないでください。



■天吊り使用時のランプ交換、フィルター などの清掃は販売店に依頼すること

高所での作業をお客様ご自身で行うと、転落 などによりけがの原因となります。







◆設置されるとき

■温度の高い場所に置かないこと

直射日光の当たる場所・閉めきった自動車 内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感 電の原因となることがあります。また、破損、 その他部品の劣化や破損の原因となることが あります。





■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かな いこと

加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所 などに置くと、火災・感電の原因となること があります。



禁 ۱ŀ

5







い。



7

(つづく)





⚠注意

■お手入れの際は、安全のため電源プラグ をコンセントから抜いて行うこと

感電の原因となることがあります。





プラグを抜け

■定期的に本体内部の清掃をお買い上げの 販売店にご相談ください

内部にほこりがたまったまま使用すると、火 災・故障の原因となることがあります。特に、 湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果 的です。内部の清掃費用についても、お買い 上げの販売店にご相談ください。





◆ランプについて

本機の光源には、点灯時に内部気圧が高くなる水銀ランプが使われています。このランプには以下の特性がありますので、内容をよく理解して、取扱いには十分注意してください。

- ●衝撃や劣化などによって、ランプが破裂して大きな音がしたり、寿命が尽きて点灯しなくな ることがあります。
- ●破裂や寿命に至るまでの時間には、ランプによって大きな差があり、使い始めてまもなく破裂することもあります。(ランプ保証期間内に破裂した場合は、無償交換いたします。お買い上げの販売店にご連絡ください。)
- ●交換時期を過ぎて使用すると、破裂しやすくなります。
- ●ランプが破裂すると、ガラスの破片が本機の内部に飛び散ったり、通気孔などから外に出たりすることがあります。
- ●ランプが破裂すると、ランプの内部に封入された微量の水銀ガスがガラスの粉塵とともに本 機の排気孔などから放出されることがあります。

■画面にランプ交換の表示が出たら、すみやかに新しいランプに交換してください

- ●交換時期になると「ランプが寿命です。交換してください。」というメッセージが画面に表示されます。
- ●そのまま使い続けると、ランプが破裂する可能性が高くなります。
- ●時々ランプの使用時間を確認して、交換時期が近づいたら新しいランプをご用意ください。 (43ページの「情報を表示する」をご覧ください。)

■ランプが割れたときには・・・

- ●万一、ランプやレンズなどのガラス部品が割れた際には、ガラス破片で けがなどをしないように取扱いに注意し、お買い上げの販売店に修理を 依頼してください。
- ●万一、ランプが破裂した際には、本機の電源コードを抜き、退室して室 内を十分に換気してください。その後、本機の周囲を念入りに清掃して、 その場に置かれていた食品は捨ててください。



●ランプが破裂した際に、ガラスの粉塵や水銀ガスが目に入ったり、吸い込んだりしたと思われるときは、すみやかに医師に相談してください。

ご使用上のお願い

◆取扱に関すること

■振動や衝撃が加わるような輸送の際は、お買上げの際に本商品が入っ ていた梱包箱をご使用ください。付属のキャリングバッグに入れてト ラックなどで輸送すると、振動や衝撃によって本機が故障することが あります。なお、傷んだ梱包箱で輸送すると同様に故障の原因となり ますので、新しい梱包箱の入手についてお買上げの販売店にご相談く ださい。

■殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビ ニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装 がはげるなどの原因となります。

◆お手入れに関すること

いてお買上げの販売店にご相談ください。

■ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変形、変色したり、 塗装がはげるなどの原因となります。 ■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。 ■エアフィルターはこまめに清掃してください。目詰まりすると、本機 内部の温度が上がり、液晶パネルなどの光学部品の寿命を縮める原因

となります。エアフィルターが傷んだ場合は、交換用フィルターにつ

◆置き場所や置きかたに関すること

- ■暖房機具の近くなど、温度の高い場所に置いて使用しないでください。 故障や液晶パネルなどの寿命を縮める原因となります。
- ■油煙やたばこの煙にさらされる場所は避けてください。液晶パネルな どの光学部品に汚れが付着して、寿命を縮めたり、画面が暗くなった りする原因となります。
- ■20°以上傾けて使用しないでください。ランプの寿命を縮める原因と なります。
- ■本機をテレビやラジオの近くで使用すると、画像や音声に悪い影響を 与えることがあります。このような場合にはテレビやラジオから離し てください。
- ■低温の場所から高温の場所に移動したときなどには、結露により本機 のレンズや内部の部品などに水滴が付くことがあります。そのまま使 用すると、故障の原因となることがありますので、結露(水滴)が自 然に消えるまでお待ちください。
- ■高地では大気が希薄なため、本機内部の冷却効率が低下し、定格温度 範囲であっても動作を停止することがあります。このような場合には、 周囲の温度を下げてご使用ください。

◆日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりま すので使えません。

This LCD Data Projector is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

その他のご注意とお知らせ

◆電波傷害について

この商品は、情報技術装置からの妨害波の許容値を定めた規格J55022 (H14)のクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電 波障害を発生させるおそれがあります。その際、この商品の使用者は、適 切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

◆著作権について

本商品を用いて、市販映像ソフトや放送・有線放送番組を、個人の視聴 以外の目的で上映・伝達する行為、フリーズ・リサイズ機能等により改 変する行為、映像の縦横比を変えて表示する行為、PIP機能により子画 面で表示するなどの行為は、いずれも権利者に無断で行うと当該映像ソ フトや放送番組等の著作権や著作隣接権を侵害するおそれがあるため、 事前に権利者から使用許諾を受ける等適正な権利処理をしてください。

◆廃棄について

本商品には、人体や環境に有害とされる以下の物質が含まれています。 ●プリント基板の製造に使用するはんだには鉛が含まれています。

ランプには無機水銀が含まれています。

本商品または使用済みランプを廃棄するときは、地方自治体の条例また は規則にしたがって処理してください。詳しくは地方自治体にお問い合 わせください。

◆免責事項について

- ●地震や雷などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による 行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な 条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いま せん。
- ●本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(事業利益の損 失、事業の中断、記録内容の変化・消失など)に関して、当社は一切 責任を負いません。
- ●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当 社は一切責任を負いません。
- ●当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動 作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

◆商標について

- NEC 、 PC-98 シリーズは日本電気株式会社の商標です。
- VGA、SVGA、XGA、SXGA、UXGAは、International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
- Macintosh は、Apple Computer Inc. の登録商標です。
- Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国におけ る登録商標です。
- Display Data Channel は Video Electronics Standard Association の商標です。

◆この取扱説明書の表記について

関連する説明の参照先ページ番号を以下のように表記します。

36ページを参照していただく場合の例:36

もくじ

ご使用になる前に

| 安全上のご注意 | 2 |
|--------------|----|
| ご使用上のお願い | 10 |
| その他のご注意とお知らせ | 11 |
| 本体各部のなまえ | 13 |
| リモコン各部のなまえ | 16 |
| リモコンに電池を入れる | 17 |
| リモコンで操作する | 18 |

設置と接続

| 床置き投写の設置をする 設置角度を調節する | 19 22 |
|--------------------------------|----------|
| 天吊り投写について | 23 |
| コンピューターと接続する(COMPUTER IN 1 端子) | 24 |
| コンピューターと接続する(COMPUTER IN 2端子) | 25 |
| ビデオ機器と接続する | 26 |
| コンピューターを使って操作する | 28 |
| 出力端子の使いかた | 29 |

操作

| スクリーンに投写する | 30 |
|-------------------|----|
| 本機の電源を切る | 35 |
| 映像を自動調整する | 36 |
| 台形歪みを補正する | 37 |
| 映像と音声を一時的に消す | 39 |
| 投写中の映像を静止させる | 40 |
| 映像を拡大する | 41 |
| PIP 子画面を表示する | 42 |
| 情報を表示する | 43 |
| リモコンでコンピューターを操作する | 44 |
| | |

調整·設定

| フルメニュー画面の使いかた |
|----------------------|
| ガイドメニューでの調整・設定 |
| フルメニューでの調整・設定 [映像]48 |
| フルメニューでの調整[位置]49 |
| フルメニューでの調整 [色]50 |
| フルメニューでの調整・設定 [音声]51 |
| フルメニューでの調整・設定 [表示]52 |
| フルメニューでの設定 [初期設定]53 |
| フルメニューでの設定〔初期化〕54 |
| PIPメニューの設定55 |

書画カメラ

| 各部の名前(書画カメラ付きモデル) | |
|-------------------|----|
| 書画カメラの準備 | |
| 書画カメラを使って映像をうつす | |
| オーバーレイ機能を使う | 61 |
| ホワイトバランスを固定する | 62 |
| 白欠点を補正する | |

メンテナンス

| インジケーターによる異常表示 | 64 |
|----------------|----|
| エアフィルターの清掃 | 65 |
| レンズ、本体の清掃 | 66 |
| ランプの交換 | 68 |

その他

| 故障かな…と思ったときは | 70 |
|---------------------|----|
| COMPUTER IN 端子のピン配列 | 72 |
| 対応可能な信号について | 73 |
| RS-232C 端子を使って操作する | 75 |
| 仕様 | 81 |
| 保証とアフターサービス | 83 |
| | |

本体各部のなまえ

⚠注意

吸気孔、排気孔をふさがないこと



内部の発熱により、火災、故障の原因となりま スピーカー す。 AC IN ソケット 21 -吸気孔 本体操作部 14 警告ラベル ・注意ラベル リモコン受光部 18 6 0 0⁰ 排気孔 ・盗難防止ロック穴 定格ラベル 吸気孔 製造番号ラベル・ (エアフィルター) 65 警告ラベル レンズキャップ - ズームレバー 33 吸気孔(エアフィルター) 65 フォーカスリング 33 フットアジャスター 22 - レンズ ランプカバー 68 - フットアジャスター解除ボタン 22 注意ラベル

■ お願い

• 排気孔から高温の空気が排出されます。近くに物を置くと熱で変形することがありますので、置かないでください。



キャリングハンドル

本体各部のなまえ(つづき)







本体各部のなまえ(つづき)



■ お知らせ

•コンポーネント映像信号にはDVD プレーヤなどのY/CB/CR信号も含まれますが、本体やメニューではY/PB/PRと表記しています。

15

リモコン各部のなまえ



LASER ボタンを押している間はレーザー光が放射 されていますので、レーザー発光部をのぞき込まな いでください。また、人や鏡に向けてレーザー光を 放射しないでください。視力障害の原因となります。



16

リモコンに乾電池を入れる

⚠注意

●単三形アルカリ電池以外の電池は使用しな

●極性表示[(+)と(-)]を間違えて挿入しない

●充電・加熱・分解・ショートしたり、火の

●表示されている [使用推奨期限] を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れて

これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、

にきれいな水で洗い流してください。液が目 に入ったときはすぐにきれいな水で洗い医師

の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってくださ

やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐ

■リモコンに使用している乾電池は

中へ入れないこと。

おかないこと。

いこと。

こと。

1 (底面) リモコン底面のフタをはずす



■ 乾電池について

U).

- 長時間使用しないときは、リモコンから取り出してください。
- リモコンが動作しなかったり、到達距離が短く なったときは、すべて新しい電池と交換してく ださい。



リモコンで操作する

リモコン受光部に向けてリモコンのボタンを押す



■ リモコンについて

- リモコン受光部に太陽光や蛍光灯など強い光があたると、リモコンが動作しないことがあります。
- 受光部が見える正面の位置から操作してください。
- 落としたり、衝撃をあたえないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- 使用場所や周囲の状況によっては、まれにリモコンが受け付けにくいことがあります。このようなときは、リモコンを本体に向け直し、再度操作 をしてください。

床置き投写の設置をする

床置き投写の方法は、2通りあります。投写方法に合わせて「設置状態」の設定をしてください。53 天吊り投写の設置については、23 をご覧ください。

床置き正面投写

床置きして正面から映像を見る



床置き背面投写

床置きして半透明のスクリーンへ投写し、裏側から映像を見る



19



床置き投写の設置をする(つづき)





にしてください。

| a (最短)= 投写画面サイズ(型) – 1.7382 29.377 | |
|---|--|
| a (最長)= 投写画面サイズ(型)-1.3766 23.266 | |
| b= 画面サイズ(cm) × 0.072 | |
| a: レンズからスクリーンまでの距離(m) b: レンズの中心から投写画面下端までの 距離(cm) | |

| 投写される画面の | a (m) | | |
|------------|----------------|----------------|--------|
| 大きさ(型)(cm) | 最短 (最大ズーム時) | 最長 (最小ズーム時) | b (cm) |
| 32 (81) | - | 1.30 | 5.8 |
| 40 (102) | 1.30 | 1.66 | 7.3 |
| 60 (152) | 1.98 | 2.52 | 11.0 |
| 80 (203) | 2.66 | 3.38 | 14.6 |
| 100 (254) | 3.34 | 4.24 | 18.3 |
| 150 (381) | 5.05 | 6.39 | 27.4 |
| 200 (508) | 6.75 | 8.54 | 36.6 |
| 300 (762) | 10.15 | - | 54.9 |
| | | | |

設

置

と

接

続

20

(つづく)

床置き投写の設置をする(つづき)



■ お願い

- 寒い場所から、急に暖かい場所に移動したときや、部屋の温度を急に上げたとき、空気中の水分が投写レンズや内部の光学部分に結露して画面が ぼけることがあります。周囲の状況で異なりますが、十分室温になじませてから(1~2時間後)ご使用ください。
- スクリーンに太陽光や照明光が直接当たると、画面が白っぽくなり見にくくなります。カーテンなどで遮光してください。
- スクリーンと本体を正しく設置してください。正しく設置されていないと、投写画面が歪み、見にくくなります。

設置

と

接

設置角度の調整をする

フットアジャスターで、本体の設置角度を変えて投写位置を調整できます。





高さを微調整するときは、フットアジャスターを回す

時計方向に回すと高くなり、反時計方向に回すと低くなります。

■ お願い

- フットアジャスターを収納するときは、フットアジャスター解除ボタンを押しながらゆっくり本体を降ろしてください。
- フットアジャスター解除ボタンを押すときは、指の上に本体を落とさないように、必ず本体を支えながら行ってください。
- ランプの寿命に影響を与えるため、フットアジャスターで調整できる範囲以上に本機を傾けないでください。

設

置と

接続

天吊り投写について

⚠警告

天吊り設置は必ず販売店に依頼してください。(専用の天井取 付金具が必要となります。) 詳しくは、天井取付金具に付属している説明書もあわせて ご覧ください。

天吊り正面投写

天吊りして正面から映像を見る



天吊りして半透明のスクリーンへ投写し、裏側から映像を見る



投写方法に合わせてメニュー画面で「設置状態」の設定をしてください。53

■ お知らせ

• 投写される画面の大きさとスクリーンまでの距離の関係は、床置き設置の場合 21 と同じです。

設

置と接

コンピューターと接続する (COMPUTER IN 1 端子)

コンピューターからの映像を投写できます。 本機とコンピューターの電源が切れていることを確認してから接続してください。



■ お知らせ

- アナログ RGB 端子のないコンピューターは接続できません。詳しくは、コンピューターの説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターの機種によっては接続できないことがあります。詳しくは販売店にご相談ください。
- コンピューターの機種によっては、本機で対応できない出力モードをもっているものがあります。端子形状、信号レベル、タイミング、解像度などの適合性を確認してください。



24

設

置

と

接

コンピューターと接続する (COMPUTER IN 2 端子)

COMPUTER IN 2端子には、コンピューターからのアナログRGB信号またはデジタルRGB信号を入力して映像を投写できます。 本機とコンピューターの電源が切れていることを確認してから接続してください。



お知らせ (24 ページの「お知らせ」もあわせてお読みください。)

- デジタル RGB 信号を入力する場合は、別売の接続ケーブルをお買い求めください。
- デジタルRGB信号を入力してご使用の場合、コンピューターの機種や接続ケーブルによっては、まれに画面上にノイズが発生することがあります。そのような場合には、コンピューター信号のリフレッシュレートまたは解像度を下げてご使用ください。また、接続ケーブルは2m以下のものをご使用になることをおすすめします。
- 本機のDVI端子の入力信号仕様はDVI 1.0仕様に準拠しています(但しコンテンツプロテクトには対応していません)。この仕様で規定されない 機能については動作を保証できませんので、あらかじめご了承ください。

設

置

と

接

ビデオ機器と接続する

VIDEO IN の各端子を使って、ビデオ機器からの映像を投写できます。 本機とビデオ機器の電源が切れていることを確認してから接続してください。



■ お知らせ

• S-VIDEO 端子と VIDEO 端子は、それぞれ独立してご使用になれます。ただし、音声入力端子は S-VIDEO と VIDEO とで共通です。



ビデオ機器と接続する(つづき)

コンポーネント映像出力端子付きビデオ機器からの映像を投写できます。 本機とビデオ機器の電源が切れていることを確認してから接続してください。



■ お知らせ

•コンポーネント映像信号にはDVDプレーヤなどのY/CB/CR信号も含まれますが、本体やメニューではY/PB/PRと表示しています。

コンピューターを使って操作する

付属の専用コントロールケーブルで本機にコンピューターに接続して操作できます。75 本機および接続するコンピューターの電源が切れていることを確認してから接続してください。



■ お願い

• 付属の専用ケーブル以外を接続しないでください。

出力端子の使いかた

本機に入力されているアナログ RGB 信号をパソコンモニターなどに出力することができます。 本機および接続する機器の電源が切れていることを確認してから接続してください。



■ お知らせ

- MONITOR OUT端子には、入力切換で選択されたCOMPUTER IN 1端子またはCOMPUTER IN 2端子のアナログRGB信号、またはY/PB/ PR信号が出力されます。これらの入力ソースが選択されていないときは、COMPUTER IN 1端子に入力されている信号が出力されます。(デジ タル RGB 信号は出力されません。)
- スタンバイ状態でも MONITOR OUT 端子から信号が出力されています。
- 一般的にパソコンモニターで Y/PB/PR 信号は正常に受像できません。

設

置と

接





• ご購入後はじめてご使用になるときは、スタート画面が消えると言語設定メニューが表示 されます。次のページの手順2,3にしたがって設定します。

(つづく)

30

操





はじめてご使用になるときは、メニューやメッセージなどの表示に使用する言語を 設定するメニューが表示されます。ご使用になりたい言語に設定します。 (ご購入時は、英語に設定されています。)



操



投写する入力ソースを選択します。手順5-aと5-bの2種類の方法がありますので、 お好みの方法で選択してください。





操

■ お知らせ

(コンピューターからの信号について)

- 液晶ディスプレイを用いたコンピューターの機種によっては、コンピューター側のモニ ター表示とプロジェクターへの出力とを同時に行なうと、画面が正しく投写されない場合 があります。このような場合には、コンピューターの液晶ディスプレイの表示を切ってく ださい。液晶ディスプレイ表示の切り換え方法などは、コンピューターの取扱説明書、お よび使用しているコンピューターソフトの説明書を参照してください。
- 本機は、XGA 信号(1024 × 768)を画面いっぱいに投写します。
- XGA 信号以外のコンピューターの映像は拡大・縮小表示されますので、画質が多少劣化します。接続するコンピューターの外部モニターの設定をXGA(1024×768)にすることをおすすめします。
- 本機はDDC2B(Display Data Channel 2B)に対応しています。お使いのコンピューターがDDCに対応している場合は、本機の電源を入れてからコンピューターを起動してください。順番を逆にすると、コンピューターから信号が出力されないことがあります。



ズームレバーで画面の大きさを調節する 右へ回すと画面が大きくなります。 左へ回すと画面が小さくなります。



フォーカスリングでピントを合わせる 静止画で合わせることをおすすめします。





操



8

本体操作部





VOL/ADJ(+/-)ボタンで音量を調節する (+)ボタンを押すと、音量が大きくなります。 (-)ボタンを押すと、音量が小さくなります。

■ お知らせ

- •上下の投写角度を変えたい場合は、フットアジャスターを使って調整してください。22
- 画面が台形に歪む場合は、KEYSTONEボタンを押してから調整します。37
- ランプの特性上、まれに画面がちらつくことがありますが故障ではありません。
- ランプは消耗品です。長時間ご使用になると映像が暗くなったり、切れて点灯しなくなったりすることがあります。これはランプの特性であり、故障ではありません。
- 本機に使用している液晶パネルは非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に非点灯、常時点灯などの表示不良が存在する場合があります。これは、故障ではありませんので、ご了承ください。
- 実行できない操作ボタンを押すと、アイコン 💞 が表示されます。
- ・ 周囲の温度が高すぎるときや、エアーフィルターにほこりがたまったときなどには本機が 動作を停止することがあります。
- 本機が対応していない信号が入力されると、アイコン ? が表示されます。
- 入力ソースから信号が入力されていないとき、アイコン **OFF** が表示されます。

■ 液晶パネルの寿命について

液晶パネルには寿命があります。

長くご使用いただくために以下の点にご注意ください。

- 液晶パネルの寿命をのばすために、使用していないときは必ず電源を切り、ランプが消えていることを確認してください。ランプが消えていると省エネ効果も大きくなります。
- エアフィルターが汚れて目詰まりすると、本体内部の温度が高くなり液晶パネルの寿命を短くするとともに、故障の原因になります。エアフィルターをときどき清掃し65、 さらに定期的に交換してください。交換はランプ交換と同時をおすすめいたします。「交換用のエアフィルターは、お買い上げの販売店またはお近くのサービスステーションへお申し付けください。」

操

本機の電源を切る

35

操

作

リモコン







■ お知らせ

本機はスタンバイ状態で約20Wの電力を消費します。長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜くことをおすすめします。

■ お願い

- 電源プラグは、LAMPインジケーターが消灯しているのを確認してから抜いてください。本 機の動作中や、光源ランプの冷却中に電源プラグを抜いて電源を切ると、ランプの寿命が短 くなります。但し、本機が操作不能などの異常の場合には電源プラグを抜いてください。
- ランプが冷却される前に抜いた電源プラグを再度差し込むときは、ランプが十分に冷えるのを待ってください。ランプが高温になっていると、点灯しないことがあり、寿命が短くなります。

映像を自動調整する



Autro set

アナログ RGB 信号の映像を投写したときの水平位置, 垂直位置, サンプリング位相, サンプリング周波数を、ワンタッチ操作で最適状態に調整できます。



■ お知らせ

- 本機が対応しているコンピューター信号以外では、正しい自動調整ができないことがあります。
- 水平位置,垂直位置,サンプリング位相,サンプリング周波数は、メニュー画面で調整することもできます。49

※サンプリング周波数とは

コンピューターから入力されたアナログ RGB 信号は、本機の内部でデジタル信号に変換 されます。このとき、デジタル信号に変換される1秒間あたりの回数がサンプリング周波 数です。コンピューター信号のひとつひとつのドットをすべてとらえる(サンプリングする) ために、サンプリング周波数とコンピューターのドットクロック周波数が一致するように 調整する必要があります。この調整がずれていると、映像の細かい部分がぼやけたり、縦 線をたくさん表示したときに縞模様が出たり、画面の幅が変わったりします。なお、本機 が対応している RGB 信号では、AUTO SET ボタンを押さなくてもサンプリング周波数 だけは自動調整されます。

※サンプリング位相とは

コンピューターのアナログRGB信号をサンプリングするタイミングをサンプリング位相 と言います。サンプリング位相が合っていないと、ひとつひとつのドットを正しいタイミ ングでサンプリングできないため、映像がぼやけたり、ちらつきを生じたりします。 作

36
台形歪みを補正する





フットアジャスターを使って設置角度を変えて、スクリーンよりも下側から投写 すると、投写画面の上側が広くなり画面が歪むため、これを補正します。



KEYSTONE ボタンを押す 台形補正メニューが表示され、「自動垂直台形補正」が選択された状態になっています。 (このメニューは、ガイドメニュー 47)で「画面の台形歪みを補

正する。」を選択したときに表示されるサブメニューと同じです。)

ENTER ボタンを押す

KEYSTONE

KEYSTONE

ENTER

ENTER

EXIT

EXIT

3

投写画面の垂直台形歪みが自動補正されます。

処理をしている間、画面の左上にアイコン 🐚 が表示され ます。

処理が終了すると、マニュアル調整による「垂直台形補正」か 「水平台形補正」を選択するメニューが表示され、「垂直台形 補正」が選択された状態になっています。

台形歪みを確認する

さらに調整をする必要がなければ、メニューが消えるまで EXITボタンを繰り返し押します。

台形歪みが正しく補正されていない場合は、次の手順に進みます。

操



台形歪みを補正する(つづき)



本体操作部





■ お知らせ

- ・垂直台形補正と水平台形補正の補正可能範囲は、互いの補正量および入力信号の種類 73
 の影響を受けます。このため、入力を切り換えたときに補正量が変わることがあります。
- スクリーンが垂直に設置されているのに「自動垂直台形補正」が正しく動作しない場合は、「水平基準値リセット」
 54 を実行してください。

操

映像と音声を一時的に消す



スクリーンに他のプロジェクターやOHPなどの映像を一時的に投写したいような とき、本機の映像と音声を消すことができます。



■ お知らせ

• ミュート中に他の操作をすると、ミュートが解除されます。

投写中の映像を静止させる



投写中の映像を静止させることができます。 ビデオで撮影した映像を止めてプレゼンテーションしたいときなどにお使いいただ けます。



- 無入力状態(信号ソースからの信号供給がない状態)では動作しません。
- •本機で映像を静止させても、入力ソースの映像は変化しています。

作をすると、静止画は解除されます。

• 市販映像ソフトや放送・有線放送番組に対して、この機能を個人の視聴以外の目的で使用 すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。 操

映像を拡大する



リサイズ中はアイコン 阚 が画面の左上に 表示されます。 投写している映像を拡大(リサイズ)表示できます。



■ お知らせ

- 拡大した映像をFREEZEボタンで静止させることができます。静止させた状態で拡大や 縮小(拡大倍率を下げる)、拡大部分の移動をすることもできます。
- •フリーズ(静止画) 40 以外の操作をしたとき、リサイズは解除されます。
- デジタル処理で拡大ため、拡大するにつれて映像があらくなります。
- 無入力状態(信号ソースからの信号供給がない状態)では動作しません。
- 市販映像ソフトや放送 · 有線放送番組に対して、この機能を個人の視聴以外の目的で使用 すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

操

PIP 子画面を表示する



コンピューターの映像の中に、ビデオまたはS-ビデオの映像を小さな映像(本取扱 説明書では子画面と記載しています)で表示できます。



- コンピューター入力以外が選択されているとき、PIP 機能はご使用になれません。
- コンピューターからの信号供給がない状態では PIP 機能をご使用になれません。
- 他の操作をすると、子画面が消えます。
- 子画面を表示するときの子画面の信号ソース、サイズ、表示位置、および音声入力ソース をメニュー画面で変更することができます。55
- 市販映像ソフトや放送・有線放送番組に対して、この機能を個人の視聴以外の目的で使用 すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。

操

情報を表示する



入力信号ソースなどの情報を表示できます。



■ お知らせ

- 表示された情報は、状況が変わっても更新されません。更新するときには、表示された情報をいったん消してから、もう一度表示させてください。
- 情報表示中に他の操作をすると、表示された情報は消えます。
- [ランプ時間]はランプ交換時期の目安として表示しています(ランプ保証時間のカウンターとしてはご使用になれません)。表示される時間が 1500 に近づいたら、交換用ランプ TLPL79(別売品)の準備について販売店にご相談ください。
- ランプ時間]は、ランプ交換の際にリセットすることができます。
- [バージョン]は本機内部の制御プログラムのバージョンであり、アフターサービスなどの際に参照します。

操

リモコンでコンピューターを操作する

付属のUSBケーブルで本機とコンピューターを接続することにより、リモコンでコンピューターを操作できます。 本取扱説明書では、この機能を「マウスリモコン」と記載しています。



■ お知らせ

- この機能は、USB1.1をサポートするUSBポートを標準装備したWindows 98/98SE、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、 Mac OS 9、Mac OS Xの各 0.S に対応します。なお、すべてのコンピューターについて動作保証をするものではありません。
- コンピューターのUSBポートに初めて接続するとき、デバイスドライバのインストール状況によってコンピューターのモニター画面に「Windows 98」または「Windows 98SE」のCD-ROMを挿入するようメッセージが出る場合があります。メッセージにしたがってください。
- 付属品以外の USB ケーブルをご使用になるときは、シールドタイプのケーブルをご使用ください。

44

操

メニュー画面の使いかた

メニュー画面でさまざまな調整や設定をすることができます。ここでは、メニュー画面の基本的な操作方法を説明します。



調

慗

設

定

フルメニュー画面の使いかた



調

慗

設

定

ガイドメニューでの調整・設定

| ガイドメニューでは、よく使う機能の調整や設定ができます。 | | | 入力ソーフ | スと項目の関 | 夏係 〇 | :調整·設定 | できます | ー:表示さ | れません | |
|------------------------------|---------------|-----|--|------------|------------|------------|------------|------------|--------|------------|
| ガイドメニューの | り出しかたや操作 | をのし | かたについては、45 をご覧ください。 | アナログRGB(1) | アナログRGB(2) | デジタルRGB | Y/Pb/Pr | ビデオ | S-ビデオ | 書画カメラ |
| 映像の明るさを調整します | - コントラスト | 調整 | 映像のコントラスト(濃淡)を調整 | 0 | \cap | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \cap | \cap |
| L | — <u>明るさ</u> | 調整 | 映像の明るさを調整(暗い部分に注目して調整) | | | | \smile | \bigcirc | | \bigcirc |
| 映像のちらつきを調整します―― | - サンプリング位相 | 調整 | 映像のちらつきを調整 | 0 | 0 | — | — | — | — | — |
| 映像の色を調整します | - 色の濃さ | 調整 | 映像の色の濃さを調整 | - | — | — | 0 | \bigcirc | 0 | — |
| 書画カメラの感度を調整します | ーカメラゲイン | 調整 | 書画カメラの感度を調整 | - | — | — | — | _ | — | 0 |
| フリッカーを抑えます― | - シャッタースピード | 書画力 | コメラ映像のちらつきが減るように下記から選択 | | | | | | | |
| | 自動 | 設定 | シャッタースピードを自動設定 |] | _ | _ | _ | _ | _ | |
| | 50Hz | 設定 | シャッタースピードを50Hzに固定 | | | | | | | |
| | 60Hz | 設定 | シャッタースピードを60Hzに固定 | | | | | | | |
| 明るさを優先した映像と画質を優先 | 一明るさ優先 | 設定 | 画面の明るさを優先したモードに設定 | \cap | \bigcirc | | | | | |
| した映像のどちらかを選択します | — 画質優先 | 設定 | 画面の色味を優先したモードに設定 | | | | | _ | _ | _ |
| 画面の台形歪みを補正します | 自動垂直台形補正 | 実行 | 垂直台形歪みを自動補正 | | | | | | | |
| L | 一手動調整へ | 実行 | ─── 垂直台形補正 調整 垂直台形歪みを調整 | | | | \bigcirc | 自入力共 | 通 | |
| | | | └──水平台形補正 | | | | | | | |
| 入力を切り換えるときに選択 | COMPUTER IN 1 | 設定 | ■:COMPUTER IN 1 端子をINPUTボタンで選択可能 | | | | | | | |
| される入力ソースを設定します | アナログRGB(1) | 設定 | COMPUTER IN 1 端子をアナログRGB(1)入力として使用 | | | | | | | |
| ■ 「 ENTEBでオン/オフ | Y/Pb/Pr | 設定 | ●:COMPUTER IN 1 端子をY/PB/PR入力として使用 | | | | | | | |
| ⊕ : (◄).(►)でオン/オフ □ | COMPUTER IN 2 | 設定 | ■:COMPUTER IN 2 端子をINPUTボタンで選択可能 | | | | | | | |
| | アナログRGB(2) | 設定 | ●:COMPUTER IN 2 端子をアナログRGB(2)入力として使用 | | | | \bigcirc | È入力共 | 通 | |
| | デジタルRGB | 設定 | COMPUTER IN 2 端子をデジタルRGB入力として使用 | | | | | | | |
| - | - VIDEO | 設定 | ■:ビデオ入力をINPUTボタンで選択可能 | | | | | | | |
| F | -S-VIDEO | 設定 | ■S-ビデオ入力をINPUTボタンで選択可能 | | | | | | | |
| L | | 設定 | ☑:書画カメラ入力をINPUTボタンで選択可能 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |

- 書画カメラのないモデルでは書画カメラに関係する項目が表示されません。
- •『サンプリング位相』は、入力される RGB 信号の種類 73 ごとに調整状態が記憶されます。
- •『台形補正』と『入力ソースの選択』はすべての入力ソースで調整・設定できますが、結果は全入力に共通に作用します。
- 入力ソースをひとつも選択しないでメニューを終了することはできません。
- •入力ソースの設定結果は次回の入力切換から有効になります。
- 調整や設定された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの調整・設定 [映像]

| フルメニュー | [映像] では、映像のさまざまな調整や設定ができます。 | 入力ソーズ | スと項目の関 | 周係 〇 | :調整·設定 | できます | - :表示さ | れません |
|-----------|---|------------|------------|---------|---------|------|--------|------------|
| メニューの出し | 」かたや操作のしかたについては、 <mark>45</mark> > 46> をご覧ください。 | アナログRGB(1) | アナログRGB(2) | デジタルRGB | Y/PB/PR | ビデオ | S-ビデオ | 書画カメラ |
| コントラスト | 調整 映像のコントラスト(濃淡)を調整 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 明るさ | 調整 映像の明るさを調整(暗い部分に注目して調整) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | \bigcirc |
| シャープネス | 調整 映像の先鋭さを調整(Y/PB/PR入力時は設定) | — | — | — | 0 | 0 | 0 | 0 |
| カメラゲイン | 調整 書画カメラの感度を調整 | - | - | — | — | - | - | 0 |
| 映像モード | 明るさ優先 設定 画面の明るさを優先したモードに設定 画質優先 設定 画面の色味を優先したモードに設定 | 0 | 0 | 0 | _ | _ | _ | _ |
| ビデオモード | 自動 設定 ビデオモード(カラー復調方式)を自動判定モードに設定 NTSC 設定 ビデオモードをNTSC方式に設定(固定) PAL 設定 ビデオモードをPAL方式に設定(固定) SECAM 設定 ビデオモードをPAL方式に設定(固定) PAL-N 設定 ビデオモードをPAL-N方式に設定(固定) PAL-N 設定 ビデオモードをPAL-N方式に設定(固定) PAL-M 設定 ビデオモードをPAL-M方式に設定(固定) PAL60 設定 ビデオモードをNTSC4.43方式に設定(固定) NTSC4.43 設定 ビデオモードをNTSC4.43方式に設定(固定) | | _ | _ | _ | 0 | 0 | _ |
| 信号フォーマット | 自動 設定 Y/PB/PR入力の信号フォーマットを自動判定モードに設定 525i 設定 Y/PB/PR入力の信号フォーマットを525iモードに設定(固定) 525p 設定 Y/PB/PR入力の信号フォーマットを525pモードに設定(固定) 625i 設定 Y/PB/PR入力の信号フォーマットを625iモードに設定(固定) 625i 設定 Y/PB/PR入力の信号フォーマットを725pモードに設定(固定) 750p 設定 Y/PB/PR入力の信号フォーマットを750pモードに設定(固定) 1125i 設定 Y/PB/PR入力の信号フォーマットを1125iモードに設定(固定) | | _ | _ | 0 | _ | _ | _ |
| シャッタースピード | 自動 設定 シャッタースピードを自動設定 50Hz 設定 シャッタースピードを50Hzに設定(固定) 60Hz 設定 シャッタースピードを60Hzに設定(固定) | | _ | _ | _ | _ | _ | 0 |
| 画面サイズ | → フル 設定 1024×768ドットに変換して表示する スルー 設定 入力ソースの解像度で表示する | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 「ワイド 設定 ワイド画面で表示する | | | — | 0 | 0 | 0 | — |
| 初期化 | 実行 フルメニュー [映像] の調整·設定を購入時の状態に戻す | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

- 書画カメラのないモデルでは書画カメラに関係する項目が表示されません。
- •「ビデオモード」または「信号フォーマット」を [自動] 以外のモードに設定した場合には、機能の一部に制限があります。 53
- 市販映像ソフトや放送・有線放送番組に対して、個人の視聴以外の目的で「画面サイズ」の設定機能を使って画面の縦横比を変えて表示すると、 著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。
- 調整や設定された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの調整 [位置]

| フルメニュー [位置] では、アナログ RGB 入力の映像位置などを調整できます。 メニューの出しかたや操作のしかたについては、45~46~をご覧ください。 | | | | 入力ソースと項目の関係 ○:調整・設定できます -:表示されません | | | | | | |
|---|------------------------------|------------|---|-----------------------------------|---------|-----|-------|-------|--|--|
| | | | | デジタルRGB | Y/Pb/Pr | ビデオ | S-ビデオ | 書画カメラ | | |
| 水平位置 | 調整 映像の水平表示位置を調整 | 0 | 0 | — | — | | — | — | | |
| 垂直位置 | 調整 映像の垂直表示位置を調整 | \bigcirc | 0 | — | — | _ | — | — | | |
| サンプリング位相 | 調整 映像のちらつきを調整 | \bigcirc | 0 | — | — | _ | — | — | | |
| サンプリング周波数 | 調整 細かい映像に縦縞が現れるときに調整 | 0 | 0 | — | — | _ | — | — | | |
| 初期化 | 実行 フルメニュー [位置] の調整を購入時の状態に戻す | \bigcirc | 0 | — | — | _ | — | — | | |

- アナログ RGB 入力以外ではこのメニューは表示されません。
- このメニューでの各項目の調整内容は、入力される RGB 信号の種類 73 ごとに記憶されます。
- 調整された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶 されません。

フルメニューでの調整・設定 [色]

| フルメニュー | [色] では、映像の色について調整できます。 | 入力ソース | スと項目の関 | 「孫 O | :調整·設定 | できます | -:表示さ | れません |
|---------------------------------------|---|-------|--------|---------|---------|------------|-------|------------|
| メニューの出しかたや操作のしかたについては、 45 46 をご覧ください。 | | | | デジタルRGB | Y/Pb/Pr | ビデオ | S-ビデオ | 書画カメラ |
| 色の濃さ | 調整 映像の色の濃さを調整 | - | — | — | 0 | \bigcirc | 0 | — |
| 色あい | 調整 映像の色あいを調整(PAL,SECAM,PAL-N,PAL-M,PAL60では調整できません) | - | — | — | — | 0 | 0 | — |
| 赤レベル | 調整│映像の赤色の強さを調整 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | \bigcirc |
| 緑レベル | 調整 映像の緑色の強さを調整 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 青レベル | 調整 映像の青色の強さを調整 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | \bigcirc |
| 初期化 | 実行 フルメニュー [色] の調整を購入時の状態に戻す | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | \bigcirc |

■ お知らせ

• 調整された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶 されません。

<u>50</u>

フルメニューでの調整・設定 [音声]

| フルメニュー | [音声] では、スピーカーから出力する音声の調整や設定ができます。 | 入力ソースと項目の関係 ○:調整·設定 | できます – : 表示さ | れません |
|----------|--|---------------------------------------|--------------|-------|
| メニューの出 | 」かたや操作のしかたについては、 ⁴⁵ ♪ 46♪ をご覧くたさい。 | アナログRGB(1) アナログRGB(2) デジタルRGB Y/PB/PR | ビデオ S-ビデオ | 書画カメラ |
| 音量 百里 | 調整 音量を調整 | | 0 0 | — |
| スピーカ出力 | 入り設定スピーカーから音声を出力する切り設定スピーカーから音声を出力しない | ○ 共通 | ○ 共通 | _ |
| チャンネル切換 | 左+右 設定 右チャンネルと左チャンネルの音声をミックスして出力する 左 設定 左チャンネルの音声を出力する 右 設定 右チャンネルの音声を出力する | ○ 共通 | ○ 共通 | _ |
| ラウドネス | 入り 設定 ラウドネス効果を加える 切り 設定 ラウドネス効果を加えない | ○ 共通 | ○ 共通 | _ |
| 初期化 | 実行 フルメニュー [音声] の調整·設定を購入時の状態に戻す | ○ 共通 | ○ 共通 | — |

- 書画カメラ入力では音声が出力されません。
- 書画カメラ入力以外のすべての入力で設定をすることができますが、結果は表に示す関係で共通になります。音量は、書画カメラ以外の入力で入 カソースごとに調整できます。
- 調整や設定された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの調整・設定 [表示]

| フルメニュー! | 表示」では、メニ | ニュー表示方法の設定などができます。 | 入力ソースと項目の関係 ○:調整・設定できます -:表示されません |
|-----------|--------------|--|--|
| メニューの出し | かたや操作のした | かたについては、 <mark>45<mark>〉</mark>46〉をご覧ください。</mark> | アナログRGB(1) アナログRGB(2) デジタルRGB Y/PB/PR ビデオ S-ビデオ 書画カメラ |
| 垂直台形補正 | 調整 垂直方向の設置角 | 度を変えたときの台形歪みを調整 | └──── |
| 水平台形補正 | 調整 水平方向の設置角 | 腹を変えたときの台形歪みを調整 | ○ 全入力共通 |
| 言語 | English | 設定 英語 | |
| | Français | 設定 フランス語 | |
| | | 設定 トイツ語 | |
| | | 政化 インリア iii 迎会 フペイン)語 | |
| | - Português | 設定 ポルトガル語 | ○ 全入力共通 |
| | | | |
| | 中文(简体字 | 設定 中国語(簡体字) | |
| | - 中文(繁體字 | 設定 中国語(繁体字) | |
| | └─ 한국어 | 設定 韓国語 | |
| アイコン表示 | | 設定アイコンを表示する | ○ 今 λ 力 ± 涌 |
| | 山切り | 設定 アイコンを表示しない | |
| メニュー位置 | 一 左上 | 設定メニューを画面の左上に表示する | |
| | 右上 | 設定 メニューを画面の右上に表示する | ○ 全入力共通 |
| | | 設定 メニューを画面の左下に表示する | |
| | | 設定 メーユーを回回の石下に表示する | |
| メニュー背景半透明 | | 設定 メニューの背景を半透明にする | ○ 全入力共通 |
| | 「切り」 | 設正 メーユーの肖景を半透明にしない | |
| 初期化 | 実行 フルメニュー [表 | 示」の調整·設定を購入時の状態に戻す | ○ 全入力共通 |

整・設定

調

- すべての入力で調整や設定をすることができますが、結果は共通になります。
- 信号が入力されていないとき、「メニュー背景半透明」の設定はできません。また、設定にかかわらずメニューの背景は半透明になりません。
- 調整や設定された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶されません。

フルメニューでの設定 [初期設定]

| フルメニュー [| 初期設定]では、 | 入力ソースや設置状態 | 態などの設定ができます。 [| 入力ソースと項目の関係 〇:調整・調 | 没定できます – :表示されません |
|---------------------------------------|----------|---|--|---------------------------------------|---------------------|
| メニューの出し | かたや操作のしか | いたについては、45) | 46 をご覧ください。 | アナログBGB(1) アナログBGB(2) デジタルBGB Y / PB/ | PBI ビデオ S-ビデオ 書画カメラ |
| | | | | | |
| 人刀設定 | | 設定 MCUMPUTER IN T | 「端子をINPUIホタンで選択可能 | | |
| ■: ENTERでオン/オフ | | | 価于をアナロクRGB(1)入力として使用 | | |
| ●:(◀),(▶) でオン/オノ | | | 「「「ATTAL AND | | |
| | | | 「「「をINPUINダノC迭折り形」」 「コストマナログDOD(の)」カトレズ体中」 | \bigcirc | |
| | | 設定 認定 ●.COMPLITED IN 2 9 | | 0 | 主人刀共通 |
| | | 設定 ♥.CUIVIPUTEN IN 2 弐字 ■ビデナスカをNIDUI | 「ボクンズ選択可能 | | |
| | | 設定 IIICノオ人力をINPU 設定 IIIC ビデオ♪ カをIND | 小ダノで選択可能 | | |
| | | 設定 M.S-L / オハバをINF 設定 W 書面カメラλカをIN | | | |
| | | | ドロドプランと選択可能 | | |
| 設直状態 | | 設定体直さ止回投与をする | | | |
| | | 設定体直さ育団投与をする | | 0 | 全入力共通 |
| | | 設定 大市り 止 回 技 与 を 9 る | | _ | |
| | 「育面大市り | 設定 大市り育面投与をする | | | |
| 無信号背景 | | 設定信号が入力されないとき | 、TOSHIBAロゴを表示する | | |
| | | 設定 信号が入力されないとき | こ、画面全体を青色にする | 0 | 全入力共通 |
| | 」 なし | 設定 信号が入力されないとき | を、何も表示しない(黒にする) | | |
| 無信号電源オフ | 一 なし | 設定 信号が入力されない状態 | が続いても電源をオフしない | | 今1 |
| | 5分後オフ | 設定 信号が入力されない状態 | 診5分間続いたら電源をオフする | 0 | 主人刀共通 |
| 電源オン | 手動 | 設定 ON/STANDBYボタン | で電源を入れる | | |
| | | 設定電源プラグを差し込んた | どき電源を入れる | 0 | 全人刀共通 |
| スタート画面 | - Лр | | | | A |
| | 山切り | 設定電源を入れたときにスタ | | 0 | 全人力共通 |
| 初期化 | | 期設定]の設定を購入時の状態 | 態に戻す | 0 | |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | | | | |

- 入力ソースをひとつも選択しないでメニューを終了することはできません。
- 入力ソースの設定結果は次回の入力切換から有効になります。
- •「ビデオモード」 48 を [自動] 以外に設定してビデオ入力かS-ビデオ入力を選んでいるとき、または「信号フォーマット」 48 を [自動] 以 外に設定して Y/PB/PR 入力を選んでいるとき、無信号を検出する機能(「無信号背景」,「無信号電源オフ」)は働きません。
- •「電源オン」を[自動]に設定した場合、電源プラグが差し込まれていると停電復旧後に本機の電源がオンになりますので、ご注意ください。
- すべての入力で設定をすることができますが、結果は共通になります。
- 設定された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶 されません。

フルメニューでの設定 [初期化]

- •「すべてを初期化」を実行すると、すべてのメニューでの調整・設定内容を、まとめて購入時(工場出荷時)の状態に戻すことができます。(下記の「水平基準値」も購入時の状態に戻ります。)
- 本機は水平の基準状態を記憶していますが、振動や衝撃などの使用環境によって、まれに基準が変動する可能性があります。
 スクリーンが垂直に設置された状態で、「自動垂直台形補正」 37 を実行をしても台形歪みが正しく自動調整されないときは、本機のアジャスター 22 をもとの状態に収納し、水平な場所に置いてから「水平基準値リセット」を実行してください。

| すべてを初期化 | 実行 | すべてのメニューの設定を購入時の状態に戻す |
|-----------|----|-----------------------|
| | | |
| 水平基準値リセット | 実行 | 自動垂直台形補正の水平基準値をリセットする |

- 本機のアジャスターを伸ばした状態や、本機を傾いた場所に置いた状態で「水平基準値リセット」を実行すると、正しい垂直台形自動調整ができなくなりますので、ご注意ください。
- 設定された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶 されません。

PIP メニューの設定

PIP 子画面が表示されているときに MENU ボタンを押すと、PIP 専用メニューが表示されます。 このメニューでは、PIP 子画面の設定と PIP 子画面を表示したときの音声の設定ができます。 メニューを消すときは、EXIT ボタンを押します。

| 子画面 | 子画面の信号ソースを設定 |
|-------|---------------------------|
| ビデオ | 設定 💿:ビデオ入力を子画面の信号ソースに設定 |
| S-ビデオ | 設定 ●:S-ビデオ入力を子画面の信号ソースに設定 |
| サイズ | 子画面のサイズを設定 |
| 小 | 設定 💿:子画面のサイズを小に設定 |
| 中 | 設定 ●:子画面のサイズを中に設定 |
| 大 | 設定 ●:子画面のサイズを大に設定 |
| 位置 | 子画面の表示位置を設定 |
| | 設定 💿:子画面を画面の左上に表示する |
| | 設定 💿:子画面を画面の右上に表示する |
| | 設定 💿:子画面を画面の左下に表示する |
| | 設定 ●:子画面を画面の右下に表示する |
| 音声 | 音声の信号ソースを設定 |
| 親画面 | 設定 💿 :親画面の音声をスピーカーから出力する |
| 子画面 | 設定 ●:子画面の音声をスピーカーから出力する |
| 初期化 | 実行 PIPメニューの設定を購入時の状態に戻す |

整・設定

調

- PIP 子画面のサイズは、親画面の信号の種類(解像度)によって変化します。
- PIP 子画面を消すと、音声の入力ソースはもとに(親画面に)戻ります。
- 設定された状態は、ON/STANDBYボタンで電源を切るときに自動的に記憶されます。動作中に電源プラグを抜いたり、停電した場合には記憶 されません。

各部のなまえ(書画カメラ付きモデル)



書画カメラ

書画カメラの準備



■ お願い

- カメラ部やアームに衝撃を与えたり、無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- アームを伸ばすときや回すとき、アームは弧を描いて動きますので、顔や体にぶつけないように注意してください。
- ・図は資料(撮影対象)を本機の上に置く場合の手順ですが、特に安定性が必要なときや原稿を透してインジケーターの光が見えるときなどは、資料 を本機の後方に置くようにアームやカメラヘッドをセットしてください。

書画カメラ

書画カメラを使って映像をうつす



⚠警告

動作中は投写レンズをのぞき込まないこと。



書画カメラ

58

書画カメラを使って映像をうつす(つづき)





書画カメラ

59

書画カメラを使って映像をうつす(つづき)





書

画力

X

ラ

オーバーレイ機能を使う

オーバーレイ機能を使うと、RGB入力やビデ オ入力などの映像にペン書きの図形や文字を 重ねることができます。

本体操作部

リモコン

ONE AUTO SET

- VOLUME/ADJUST +

MENU ENTER EXIT

TOSHIBA

2

0



- 赤か青以外で描いた場合は、正しく表示されません。
- 細いペンで描いた場合は、正しく表示されないことがあります。

書 画 カ × ラ

ホワイトバランスを固定する

本機のカメラは、撮影する色のバランスを常に自動で調節していますが、原稿など の配色によってはバランスがくずれることがあります。このようなときは、以下の 手順でホワイトバランスを固定することができます。



■ お知らせ

- カメラ入力を選択しているときアームを立てると、オートホワイトバランスが働いてカメ ラ映像の色が一瞬変わることがありますが故障ではありません。
- ホワイトバランス固定時(LOCKインジケーター点灯時)、アームを倒して再び起こすと ホワイトバランス固定は解除されています。
- 室内照明の色味によってはホワイトバランスが最適に補正されないことがあります。このようなとき、あるいはお好みの色味に調整したいときは、メニュー画面で「色レベル」を 調節してください。



VERLANCE OVERLAY ARM LOGIT

白欠点を補正する



本体操作部

■ お願い

 カメラレンズがふさがれていないときに ARM LIGHT ボタンと EXIT ボタンの両方を押 さないでください。押すと、すでに白欠点補正されている情報が消滅するだけでなく、正 常な部分に正しくない補正が加えられます。カメラ入力が選ばれていないときにもご注意 ください。 書

画

カ

メラ





てください。ランプが高温になっていると、点灯しないことがあり、寿命が短くなります。

メンテナンス



⚠警告

天吊り設置での清掃などのメンテナンスは、販 売店にご依頼ください。

エアフィルターカバー内のフィルターは、内 部へのほこりやごみの侵入を防ぐ部品です。 フィルターをはずした状態での使用はおやめ ください。

エアフィルターは、こまめに掃除をしていた だくことをおすすめします。(使用時間が50 時間に1回が清掃の目安です。)



メンテナンス

(ンづく)

エアフィルターの清掃(つづき)

■ お知らせ

- エアフィルターにほこりがたまると、空気の通りが悪くなってプロジェクター内部の温度が上昇し、故障の原因となります。
- エアフィルターカバーは最後まできちんとはめてください。きちんとはまっていないと、内部へほこりやごみが侵入し映像にうつってしまいます。
- エアフィルターを水洗いしたときには、完全に 乾いてから取り付けてください。ぬれたままで ご使用になると、故障の原因となります。
- エアフィルターが傷んだときは、販売店にご相 談のうえ、新しいものと交換してください。傷 んだままでご使用になると、内部へほこりやご みが侵入し映像にうつってしまいます。



メンテナンス



⚠警告

天吊り設置での清掃などのメンテナンスは、販 売店にご依頼ください。



レンズの清掃

- 本体や書画カメラのレンズは、市販のブローワー やレンズクリーナーで清掃してください。
- レンズの表面は傷つきやすいため、かたいもので こすったり、たたいたりしないでください。

本体の清掃

- 電源コードを抜いてから清掃をしてください。
- 本体の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布を ひたしてかたくしぼり、軽くふきとってから乾い た布で仕上げてください。

吸気、排気ファン、エアフィルターの交換

性能維持のため、2~3年を目安に交換をおすすめします。 お買い上げの販売店にご依頼ください。



本機に使用している光源用ランプは消耗品です。 長時間使用しますと映像が暗くなったり、ランプ が切れて点灯しなくなったりすることがあります。 これはランプの特性であり、故障ではありません。 (ランプの寿命は使用状態によって異なります。) このようなときは、新しいランプと取り換えてく ださい。



- 天吊り設置での清掃やランプ交換などのメン テナンスは、販売店にご依頼ください。
- 交換は必ず本機専用のランプTLPL79(別売) を使用すること。詳しくは、TLPL79の説明 書を併せてご覧ください。



- 使用直後のランプは高温になっていますので、 さわるとやけどの原因となります。十分に冷 えてから(1時間以上待ってから)ランプの交 換をしてください。
- 万一、ランプが割れた際には、ガラス破片でけ がなどをしないように取扱に注意し、お買い 上げの販売店に修理を依頼してください。



ランプの交換(つづき)

■ お知らせ

- CALLボタンを押すと、「ランプ時間」としてランプの使用経過時間(目安)を表示します。43
- ランプ交換は約1500時間を目安に交換をおす すめします。「ランプ時間」が1500に達すると、
 アイコン シメッセージが表示されるよう になります。この表示は何か操作をすると消え ます。
- ランプカバーは、最後まできちんとはめてください。正しく取付けられていないとランプが点灯しません。
- ランプを交換するときは必ず新品のランプに交換してください。
- ランプはガラス製品ですので、ガラス面を素手 でさわったり、強い衝撃をあたえたり、傷つけ たりしないでください。
- 本機のランプには、環境に有害な微量の無機水 銀が使われています。
 使用済みのランプは、破損させないように取扱 に注意し、蛍光灯などと同様の有害ごみとして 分別廃棄してください。また、分別収集してい る自治体では、その条例に基づいて廃棄してく ださい。



69

故障かな…と思ったときは

故障かな?…とお思いのときは、アフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

インジケーターによる異常表示のページもご覧ください。64

| 現象 | 原因 | 処 置 | 参照ページ |
|--|---|--|-----------|
| 電源が入らない。 | ・電源コードが抜けている。 | 電源コードをしっかり差し込む。 | 21> |
| | ・ランプカバーがはずれている。 | ランプカバーをきちんとはめる。 | 69 |
| 使用中に電源が切れる。 | ・使用している周囲の温度が高い。 | 使用している周囲の温度を下げて、電源を入れ直す。 | 64 |
| 映像が出ない。 | ・レンズキャップが付いている。 | レンズキャップをはずす。 | 21 |
| | ・入力切り換えが間違っている。 | 正しく選択する。 | 32> |
| | ・ミュート機能が働いている。 | MUTEボタンを押してミュートを解除する。 | 39 |
| | ・明るさ調整が最も暗くなっている。 | 明るさを調整する。 | 47> |
| | ・本体への接続が正しくされていない。 | 本体へ正しく接続する。 | 24 ~ 27 > |
| 音声が出ない。 | ・入力切り換えが間違っている。 | 正しく選択する。 | 32> |
| | ・ミュート機能が働いている。 | MUTEボタンを押してミュートを解除する。 | 39 |
| | ・音量が最小になっている。 | 音量を調整する。 | 34 |
| | ・本体への接続が正しくされていない。 | 本体へ正しく接続する。 | 24 ~ 27 > |
| INPUTボタンで希望の入力ソ ースが選べない。 | ・INPUTボタンで選べる入力設定になっていない。 出荷時状態ではRGB1とビデオ入力以外は選べません。 | INPUTボタンで選べるように、メニュー画面で設定する。 またはINPUTボタンを2秒間押しつづけてから選ぶ。 | 47 32 |
| RGB1入力またはY/P _B /P _R 入力の色が正しくない。 | ・COMPUTER IN 1端子の入力設定が間違っている。 | メニュー画面で入力信号の種類に合った設定をする。 | 47> |
| RGB2入力が映らない。 | ・COMPUTER IN 2端子の入力設定が間違っている。 | メニュー画面で入力信号の種類に合った設定をする。 | 47> |
| | ・信号ケーブルの種類が違っている。 | 適合する信号ケーブルを使用する。 | 25> |
| デジタルRGB入力が映らない。 | ・COMPUTER IN 2端子の入力設定が間違っている。 | メニュー画面で入力信号の種類に合った設定をする。 | 47> |
| | ・信号ケーブルの種類が違っている。 | 適合する信号ケーブルを使用する。 | 25> |
| 映像がぼやける。 | ・レンズが汚れている。 | 市販のブロワーやレンズクリーナーでレンズを清掃する。 | 67 |
| または、映像の一部しかビン トが合わない。 | ・ピントが合っていない。 | ピントを合わせる。 | 33> |
| | ・投写距離が合っていない。 | 投写距離を正しく設定する。 | 20> |
| | ・投写角度を傾けすぎている。 | 投写角度の傾けすぎを直す。 | 20> |
| | ・明るさ、コントラスト、画質、サンプリング位相などの調整が合っていない。 | 映像の調整をする。 | 47 49 |
| 映像が暗い。 | ・明るさ、コントラストの調整が合っていない。 | 映像の調整をする。 | 47 |
| | ・ランプの寿命が近い。 | 新しいランプと交換する。 | 68 |

70

の他

(つづく)

そ

故障かな…と思ったときは(つづき)

| 現 象 | 原因 | 処置 | 参照ページ |
|------------------------------|---|----------------------------|-------|
| 色がうすい。色あいが悪い。 | ・色の濃さ、色あい、赤レベル、緑レベル、青レベルの調整が合っていない。 | 色の調整をする。 | 50> |
| | ・ランプの寿命が近い。 | 新しいランプと交換する。 | 68 |
| リモコンが働かない。 | ・リモコンが受光部に向いていない。 | リモコンの発光部をプロジェクターの受光部に向ける。 | 18 |
| | ・リモコンと受光部の間が遠すぎる。 | 約5m以内のところで操作する。 | 18 |
| | ・リモコンと受光部の間に障害物がある。 | 障害物を取り除く。 | - |
| | ・リモコンの電池が消耗している。 | 電池を交換する。 | 17 |
| リモコンでマウス機能が使え | ・USBケーブルが正しく接続されていない。 | USBケーブルを正しく接続する。 | 44> |
| ない。 | ・コンピューターやO.Sが対応していない。 | リモコンのマウス機能を使用できません。 | - |
| | ・リモコンの電池が消耗している。 | 電池を交換する。 | 17> |
| 書画カメラの映像がぼける。 | ・カメラレンズが汚れている。 | 市販のブロワーやレンズクリーナーでレンズを清掃する。 | 67 |
| | ・カメラのピントがあっていない。 | カメラレンズでピントを合わせる。 | 59> |
| | ・照明が点灯していない。 | 照明を点灯させる。 | 58 |
| 書画カメラの映像がちらつく。 | ・室内の蛍光灯照明が影響している。 | メニュー画面でシャッタースピードを設定する。 | 47> |
| 書画カメラの映像の動きがぎ こちない。 | ・映像のコマ数が少ないためで、故障ではありません。 | | |
| 書画カメラの資料を動かした ときに横に線が見える。 | ・映像のコマ数が少ないためで、故障ではありません。 | | |

COMPUTER IN 端子のピン配列



入力信号 •アナログRGB入力 R, G, B 信号: 0.7V(p-p) 75 Ω 水平同期信号: TTL レベル(正/負極性) 垂直同期信号: TTL レベル(正/負極性) •Y/PB/PR入力 Y 信号: 1.0V(p-p) 75 Ω PB, PR 信号: 0.7V(p-p) 75 Ω

COMPUTER IN 2

17 9

 \bigcirc

C5 16

C4|C3|24

C2 C1 8

アナログ系入力信号
 ・アナログ RGB 入力
 R, G, B 信号: 0.7V(p-p) 75 Ω
 水平同期信号: TTL レベル(正/負極性)
 垂直同期信号: TTL レベル(正/負極性)

ミニD-sub 15ピンコネクタ

| ピン番号 | 信号内容 | |
|------|---------|------------|
| | RGB入力時 | Y/PB/PR入力時 |
| 1 | 映像信号(R) | 色差信号(PR) |
| 2 | 映像信号(G) | 輝度信号(Y) |
| 3 | 映像信号(B) | 色差信号(PB) |
| 4 | GND | * |
| 5 | GND | * |
| 6 | GND(R) | GND(Pr) |
| 7 | GND(G) | GND(Y) |
| 8 | GND(B) | GND(PB) |
| 9 | N.C | * |
| 10 | GND | * |
| 11 | GND | * |
| 12 | DDCデータ | * |
| 13 | 水平同期信号 | * |
| 14 | 垂直同期信号 | * |
| 15 | DDCクロック | * |

| ピン番号 | 信号内容 | ピン番号 | 信号内容 |
|------|--------------------|------|--------------------|
| 1 | T.M.D.S. データ 2 – | 16 | ホットプラグ検出 |
| 2 | T.M.D.S. データ2+ | 17 | T.M.D.S. データ 0 - |
| З | T.M.D.S. データ2/4シール | 18 | T.M.D.S. データ0+ |
| 4 | ř, | 19 | T.M.D.S. データ0/5シール |
| 5 | T.M.D.S. データ 4 - | 20 | ř |
| 6 | T.M.D.S. データ 4 + | 21 | T.M.D.S. データ 5 - |
| 7 | DDCクロック | 22 | T.M.D.S. データ5+ |
| 8 | DDCデータ | 23 | T.M.D.S. クロックシールド |
| 9 | アナログ垂直同期信号 | 24 | T.M.D.S. クロック+ |
| 10 | T.M.D.S. データ1 – | C1 | T.M.D.S. クロックー |
| 11 | T.M.D.S. データ1+ | C2 | アナログ映像信号(R) |
| 12 | T.M.D.S. データ1/3シール | СЗ | アナログ映像信号(G) |
| 13 | بر ا | C4 | アナログ映像信号(B) |
| 14 | T.M.D.S. データ3- | C5 | アナログ水平同期信号 |
| 15 | T.M.D.S. データ 3 + | | |

※何も接続しないでください。

72
対応可能な信号について

対応可能な RGB 信号

本機は下記のRGB信号について対応可能です。ただ し、コンピューターの機種によっては異なることがあ りますので、画面にちらつきやにじみがあるときは、 水平同期信号-画面調整をしてください。



タイムチャート

| т К" | 껪色庄 | А | В | С | D | E | fh | fv | clock | G | Н | I | J | К |
|--------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| モード | 杵隊 侵 | (画素数) | (画素数) | (画素数) | (画素数) | (画素数) | (kHz) | (Hz) | (MHz) | (ライン数) | (ライン数) | (ライン数) | (ライン数) | (ライン数) |
| TEXT70 | 640 x 350 | 50 | 640 | 14 | 96 | 800 | 31.469 | 70.086 | 25.175 | 59 | 350 | 38 | 2 | 449 |
| TEXT70 | 640 x 400 | 50 | 640 | 14 | 96 | 800 | 31.469 | 70.086 | 25.175 | 34 | 400 | 13 | 2 | 449 |
| TEXT85 | 640 x 350 | 96 | 640 | 32 | 64 | 832 | 37.861 | 85.080 | 31.500 | 60 | 350 | 32 | 3 | 445 |
| TEXT85 | 640 x 400 | 96 | 640 | 32 | 64 | 832 | 37.861 | 85.080 | 31.500 | 41 | 400 | 1 | 3 | 445 |
| NEC PC98 24k | 640 x 400 | 85 | 640 | 59 | 64 | 848 | 24.820 | 55.900 | 21.047 | 25 | 400 | 11 | 8 | 444 |
| VGA60 | 640 x 480 | 48 | 640 | 16 | 96 | 800 | 31.469 | 59.940 | 25.175 | 33 | 480 | 10 | 2 | 525 |
| VGA72 | 640 x 480 | 128 | 640 | 24 | 40 | 832 | 37.861 | 72.809 | 31.500 | 28 | 480 | 9 | 3 | 520 |
| VGA75 | 640 x 480 | 120 | 640 | 16 | 64 | 840 | 37.500 | 75.000 | 31.500 | 16 | 480 | 1 | 3 | 500 |
| VGA85 | 640 x 480 | 80 | 640 | 56 | 56 | 832 | 43.269 | 85.008 | 36.000 | 25 | 480 | 1 | 3 | 509 |
| MAC13" | 640 x 480 | 96 | 640 | 64 | 64 | 864 | 35.000 | 66.667 | 30.240 | 39 | 480 | 3 | 3 | 525 |
| SVGA56 | 800 x 600 | 128 | 800 | 24 | 72 | 1024 | 35.156 | 56.250 | 36.000 | 22 | 600 | 1 | 2 | 625 |
| SVGA60 | 800 x 600 | 88 | 800 | 40 | 128 | 1056 | 37.879 | 60.317 | 40.000 | 23 | 600 | 1 | 4 | 628 |
| SVGA72 | 800 x 600 | 64 | 800 | 56 | 120 | 1040 | 48.077 | 72.188 | 50.000 | 23 | 600 | 37 | 6 | 666 |
| SVGA75 | 800 x 600 | 160 | 800 | 16 | 80 | 1056 | 46.875 | 75.000 | 49.500 | 21 | 600 | 1 | 3 | 625 |
| SVGA85 | 800 x 600 | 152 | 800 | 32 | 64 | 1048 | 53.674 | 85.061 | 56.250 | 27 | 600 | 1 | 3 | 631 |
| MAC16" | 832 x 624 | 216 | 832 | 40 | 64 | 1152 | 49.725 | 74.550 | 57.283 | 39 | 632 | 1 | 3 | 667 |
| XGA43i | 1024 x 768 | 56 | 1024 | 8 | 176 | 1264 | 35.522 | 43.479 | 44.900 | 20 | 768 | 0 | 4 | 817 |
| XGA60 | 1024 x 768 | 160 | 1024 | 24 | 136 | 1344 | 48.363 | 60.004 | 65.000 | 29 | 768 | 3 | 6 | 806 |
| XGA70 | 1024 x 768 | 144 | 1024 | 24 | 136 | 1328 | 56.476 | 70.069 | 75.000 | 29 | 768 | 3 | 6 | 806 |
| XGA75 | 1024 x 768 | 176 | 1024 | 16 | 96 | 1312 | 60.023 | 75.029 | 78.750 | 28 | 768 | 1 | 3 | 800 |
| XGA85 | 1024 x 768 | 208 | 1024 | 48 | 96 | 1376 | 68.677 | 84.997 | 94.500 | 36 | 768 | 1 | 3 | 808 |
| MAC19" | 1024 x 768 | 180 | 1024 | 20 | 96 | 1320 | 60.197 | 74.872 | 73.200 | 30 | 768 | 3 | 3 | 804 |

そ Ø

他

(つづく)

対応可能な信号について(つづき)

タイムチャート(つづき)

| エ | 砚色庄 | А | В | С | D | E | fh | fv | clock | G | Н | I | J | к |
|---------------------|-------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| τ-Γ | | (画素数) | (画素数) | (画素数) | (画素数) | (画素数) | (kHz) | (Hz) | (MHz) | (ライン数) | (ライン数) | (ライン数) | (ライン数) | (ライン数) |
| *SXGA1152x864 75Hz | 1152 x 864 | 256 | 1152 | 64 | 128 | 1600 | 67.500 | 75.000 | 108.000 | 32 | 864 | 1 | 3 | 900 |
| *SXGA1280x960 60Hz | 1280 x 960 | 312 | 1280 | 96 | 112 | 1800 | 60.000 | 60.000 | 108.000 | 36 | 960 | 1 | 3 | 1000 |
| *SXGA1280x960 85Hz | 1280 x 960 | 224 | 1280 | 64 | 160 | 1728 | 85.938 | 85.002 | 148.500 | 47 | 960 | 1 | 3 | 1011 |
| *SXGA1280x1024 60Hz | 1280 x 1024 | 248 | 1280 | 48 | 112 | 1688 | 63.981 | 60.020 | 108.000 | 38 | 1024 | 1 | 3 | 1066 |
| *SXGA1280x1024 75Hz | 1280 x 1024 | 248 | 1280 | 16 | 144 | 1688 | 79.976 | 75.025 | 135.000 | 38 | 1024 | 1 | 3 | 1066 |
| *SXGA1280x1024 85Hz | 1280 x 1024 | 224 | 1280 | 64 | 160 | 1728 | 91.146 | 85.024 | 157.500 | 44 | 1024 | 1 | 3 | 1072 |
| *UXGA60 | 1600 x 1200 | 304 | 1600 | 64 | 192 | 2160 | 75.000 | 60.000 | 162.000 | 46 | 1200 | 1 | 3 | 1250 |
| *UXGA65 | 1600 x 1200 | 304 | 1600 | 64 | 192 | 2160 | 81.250 | 65.000 | 175.500 | 46 | 1200 | 1 | 3 | 1250 |
| *UXGA70 | 1600 x 1200 | 304 | 1600 | 64 | 192 | 2160 | 87.500 | 70.000 | 189.000 | 46 | 1200 | 1 | 3 | 1250 |
| *UXGA75 | 1600 x 1200 | 304 | 1600 | 64 | 192 | 2160 | 93.750 | 75.000 | 202.500 | 46 | 1200 | 1 | 3 | 1250 |

■ お知らせ

• *印の信号ソースでは圧縮表示されるため、一部情報が欠落したり画質が劣化する場合があります。

•コンピューター入力の場合、ドットクロック周波数が165MHzを越える信号ソースではすべての画素信号をサンプリングできません。

• デジタル RGB 入力では、ドットクロック周波数が 162MHz を越える信号ソースに対応できません。

対応可能なビデオ/S-ビデオ信号

| モード | fh(kHz) | fv(Hz) | fsc(MHz) |
|----------|---------|--------|--------------|
| NTSC | 15.73 | 60 | 3.58 |
| PAL | 15.63 | 50 | 4.43 |
| SECAM | 15.63 | 50 | 4.25 or 4.41 |
| PAL-M | 15.73 | 60 | 3.58 |
| PAL-N | 15.63 | 50 | 3.58 |
| PAL-60 | 15.73 | 60 | 4.43 |
| NTSC4.43 | 15.73 | 60 | 4.43 |

対応可能なY/PB/PR信号

| モード | fh(kHz) | fv(Hz) |
|-------|---------|--------|
| 525i | 15.73 | 59.94 |
| 525p | 31.47 | 59.94 |
| 625i | 15.63 | 50.00 |
| 750p | 45.00 | 60.00 |
| 1125i | 33.75 | 60.00 |
| | | |

そ

Ø

他

RS-232C 端子を使って操作する

RS-232C 端子にコンピューターからのコマンド信号を入力して、本機をコントロールすることができます。

RS-232C 端子のピン配列



| シ番号 | 信号名 | 内容 |
|-----|-----|-----------|
| 1 | RXD | 受信データ |
| 2 | CTS | 送信可 |
| 3 | DSR | データセットレディ |
| 4 | GND | 信号グランド |
| 5 | RTS | 送信要求 |
| 6 | N.C | ノンコネクション |
| 7 | TXD | 送信データ |
| 8 | N.C | ノンコネクション |

インターフェースのフォーマット

| 1. 通信方法 | RS-232C 9600bps,パリティなし、データ長:8ビット ストップビット:1ビット | | | | | | | |
|--------------|---|-------------------------|-----------|--|--|--|--|--|
| 2. 通信フォーマット | STX (02h) | ETX (03h) | | | | | | |
| | 一回の通信で1コマンドのみ有効。 | | | | | | | |
| 3. データフォーマット | 入力コマント | ^ヾ はASCⅡ準拠の英数 | 1。大文字のみ。 | | | | | |
| 4. 返信 | 応答 ACK(| 06h) 非応答 | NAK (15h) | | | | | |

コマンドー覧表

| 分類 | 項目·状態 | | 選択コマンド | 調整コマンド | アナログRGB1 アナログRGB2 | デジタルRGB | ビデオ S-ビデオ | Y/Pb/Pr | 書画カメラ |
|-----------------------|---------------|---------|--------|--------|----------------------|---------|--------------|---------|-------|
| 電源 | オン | | PON | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | オフ(確認メッセージあり) | | POF | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | シャットダウン(確認メ | ッセージなし) | PSD | — | \bigcirc | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ノーマル(RS-232Cの状態表示をオフ) | | | DOF | — | \bigcirc | 0 | \bigcirc | 0 | 0 |
| 映像 | コントラスト | | VCN | 0 | 0 | 0 | \bigcirc | 0 | 0 |
| | 明るさ | | VBR | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | シャープネス | | VSH | 0 | — | — | 0 | 0 | 0 |
| | カメラゲイン | 増加 | CGU | — | — | — | — | — | 0 |
| | | 減少 | CGD | — | — | — | — | — | 0 |
| | 映像モード | 明るさ優先 | MVB | _ | 0 | 0 | | _ | — |
| (つづく) | | 画質優先 | MVP | _ | 0 | Ó | _ | _ | _ |

■ お知らせ

• コマンドを続けて送信する場合は、次のコマンドを送る前にプロジェクタの応答(ACK, NAK)を待ってください。

● 調整コマンドには、調整値増加:[ARG]と調整値減少:[ALF]があります。使用可能な項目(○印)で、選択コマンドのあとに送信してください。

● 各入力ソースの欄の○印は、そのコマンドが使用できることを表します。



そ



RS-232C 端子を使って操作する(つづき)

| 分類 | 項目·状態 | | 選択コマンド | 調整コマンド | アナログRGB1 アナログRGB2 | デジタルRGB | ビデオ S-ビデオ | Y/Pb/Pr | 書画カメラ |
|-------|-----------|----------|--------|------------|----------------------|------------|--------------|------------|------------|
| 映像 | ビデオモード | 自動 | KVO | — | — | — | 0 | — | _ |
| (つづき) | | NTSC | KV1 | — | — | — | 0 | — | — |
| | | PAL | KV2 | - | — | — | 0 | — | — |
| | | SECAM | KV3 | - | — | — | 0 | — | — |
| | | PAL-N | KV4 | - | — | — | 0 | — | — |
| | | PAL-M | KV5 | - | — | — | 0 | — | — |
| | | PAL60 | KV6 | — | — | — | 0 | — | — |
| | | NTSC4.43 | KV7 | - | — | — | 0 | — | _ |
| | 信号フォーマット | 自動 | SGO | — | — | — | _ | \bigcirc | _ |
| | | 525i | SG1 | — | — | — | _ | \bigcirc | _ |
| | | 525p | SG2 | — | — | — | _ | \bigcirc | _ |
| | - | 625i | SG3 | — | — | — | _ | \bigcirc | _ |
| | | 750p | SG4 | — | — | — | _ | \bigcirc | _ |
| | | 1125i | SG5 | — | — | — | _ | \bigcirc | _ |
| | シャッタースピード | 自動 | CSA | — | — | — | _ | — | \bigcirc |
| | | 50Hz | CSO | — | — | — | — | — | \bigcirc |
| | | 60Hz | CS1 | — | — | — | _ | — | \bigcirc |
| | 画面サイズ | フル | MSF | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | スルー | MST | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | ワイド | MSW | — | — | — | \bigcirc | \bigcirc | — |
| | 映像初期化 | | DRV | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| 位置 | 水平位置 | | PHP | \bigcirc | \bigcirc | — | _ | — | _ |
| | 垂直位置 | | PVP | 0 | 0 | — | _ | — | — |
| - | サンプリング位相 | | PPH | 0 | 0 | — | _ | — | — |
| | サンプリング周波数 | | PCK | 0 | 0 | — | _ | — | — |
| | 位置初期化 | | DRP | _ | \bigcirc | — | _ | _ | _ |



RS-232C 端子を使って操作する(つづき)

| 分類 | 項目·状態 | | 選択コマンド | 調整コマンド | アナログRGB1 アナログRGB2 | デジタルRGB | ビデオ S-ビデオ | Y/Pb/Pr | 書画カメラ |
|-------|--------------|----------|--------|------------|----------------------|------------|--------------|------------|------------|
| 色 | 色の濃さ | | VCL | 0 | — | — | \bigcirc | \bigcirc | — |
| | 色あい | | VTN | 0 | _ | — | O * | _ | — |
| | 赤レベル | | VLR | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 緑レベル | | VLG | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 青レベル | | VLB | 0 | \bigcirc | 0 | \bigcirc | 0 | 0 |
| | 色初期化 | | DRC | _ | 0 | 0 | \bigcirc | 0 | 0 |
| 音声 | - 辛島 - 日里 | 増加 | VLU | — | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| | | 減少 | VLD | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | — |
| | スピーカ出力 | 入り | AS1 | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | _ |
| | | 切り | ASO | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | _ |
| | チャンネル切換(ピン) | 左+右 | APA | — | — | — | 0 | — | — |
| | | 左 | APL | — | — | — | 0 | — | — |
| | | 右 | APR | _ | _ | — | \bigcirc | _ | — |
| | ラウドネス(ピン) | 切り | LRO | — | — | — | \bigcirc | — | — |
| | チャンネル切換(ミニ) | 入り | LR1 | | | — | \bigcirc | _ | — |
| | | 左+右 | AMA | _ | 0 | \bigcirc | — | \bigcirc | — |
| | | 左 | AML | _ | \bigcirc | \bigcirc | — | \bigcirc | — |
| | | 右 | AMR | _ | \bigcirc | \bigcirc | — | \bigcirc | — |
| | ラウドネス(ミニ) | 切り | LMO | — | \bigcirc | \bigcirc | — | \bigcirc | — |
| | | 入り | LM1 | — | \bigcirc | \bigcirc | — | \bigcirc | — |
| | 音声初期化 | | DRA | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | — |
| 表示 | 垂直台形補正 | | PKV | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | 水平台形補正 | | PKH | 0 | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | 台形補正初期化 | | DRK | — | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | 言語 | 英語 | LEN | — | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | フランス語 | LFR | — | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | ドイツ語 | LGR | _ | 0 | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc |
| | | イタリア語 | LIT | _ | 0 | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc |
| | | スペイン語 | LSP | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | ポルトガル語 | LPO | | 0 | 0 | 0 | 0 | \bigcirc |
| | | 日本語 | LJP | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | 中国語(簡体字) | LPK | | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | 中国語(繁体字) | LKT | | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| (つづく) | | 韓国語 | LKK | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | | | *印はPAL/ | SECAM では | 使用できませ | ん。 | (つづく | |

77

Ø 他

そ

RS-232C端子を使って操作する(つづき)

| 分類 | 項 | 目·状態 | | 選択コマンド | 調整コマンド | アナログRGB1 | デジタルRGB アナログRGB2 | ビデオ | Y/PB/PR S-ビデオ | 書画カメラ |
|-------|----|---------------|----------|--------|--------|------------|---------------------|------------|------------------|------------|
| 表示 | ア・ | イコン表示 | 入り | MOO | — | \bigcirc | 0 | 0 | 0 | 0 |
| (つづき) | | | 切り | MO1 | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | X | ニュー位置 | 左上 | MP1 | — | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 左下 | MP2 | — | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc | 0 |
| | | | 右上 | MP3 | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | | 右下 | MP4 | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | ×: | ニュー背景半透明 | 入り | MB1 | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | | 切り | MBO | — | 0 | 0 | \bigcirc | 0 | 0 |
| | 表 | 示(台形補正以外)初期 | 化 | DRD | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| 初期設定 | | COMPUTER IN 1 | オン | 110 | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | | オフ | 11 | — | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc | 0 |
| | 入 | | アナログRGB1 | ISO | — | 0 | 0 | \bigcirc | \bigcirc | 0 |
| | | | Y/Pb/Pr | IS 1 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | COMPUTER IN 2 | オン | 120 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 力 | 力 | | オフ | 121 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | アナログRGB2 | IVO | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | デジタルRGB | IV 1 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 設 | VIDEO | オン | 130 | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | オフ | 131 | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | S-VIDEO | オン | 140 | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 定 | | オフ | 141 | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | CAMERA | オン | 160 | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | オフ | 161 | _ | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 設 | | 標準 | PJO | | 0 | 0 | 0 | <u> </u> | 0 |
| | | | 背面 | PJT | | 0 | 0 | 0 | <u> </u> | 0 |
| | | | 大吊り | PJ2 | _ | 0 | 0 | 0 | <u> </u> | 0 |
| | | | 背面大吊り | PJ3 | | 0 | 0 | 0 | <u> </u> | 0 |
| | 無(| 言号肖景 | | BGO | _ | 0 | 0 | 0 | <u> </u> | 0 |
| | | | 青曲面 | BGI | _ | 0 | 0 | 0 | <u> </u> | 0 |
| | | | なし | BG2 | _ | 0 | 0 | 0 | <u> </u> | 0 |
| | 無(| 言号電源オノ | 切り | PNU | | 0 | \bigcirc | <u> </u> | <u> </u> | <u> </u> |
| | L | | 5 分後 | | | 0 | \bigcirc | \bigcirc | <u> </u> | \bigcirc |
| | 電) | 原オン | 于朝 | APU | | 0 | \bigcirc | <u> </u> | <u> </u> | <u> </u> |
| (つつく) | | | 目動 | APT | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | | | | | | | | (つづく | |



78

RS-232C端子を使って操作する(つづき)

| 分類 | 項目·状態 | | 選択コマンド | 調整コマンド | アナログRGB1 アナログRGB2 | デジタルRGB | ビデオ S-ビデオ | Y/Pb/Pr | 書画カメラ |
|---------|--------------|------------------|--------|--------|----------------------|------------|--------------|------------|------------|
| 初期設定 | スタート画面 | 入り | MSO | _ | \bigcirc | 0 | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| (つづき) | | 切り | MS1 | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | 初期設定初期化 | | DRI | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| 初期化 | すべてを初期化 | | DRS | — | \bigcirc | 0 | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | 水平基準値リセット | | PKR | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| 状態表示 (C | CALL) | | DON | _ | \bigcirc | 0 | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| 入力切換 | トグル | | INO | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | COMPUTER-1 | | IN 1 | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | COMPUTER-2 | | IN2 | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | VIDEO | | IN3 | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | S-VIDEO | | IN4 | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | CAMERA | | IN6 | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| RESIZE | 拡大倍率を上げる | | RUP | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | 拡大倍率を下げる(最小は | <u> *リセット状態)</u> | RDW | _ | \bigcirc | 0 | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | 拡大画像の移動 | 上へ | P01 | — | \bigcirc | 0 | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | | 下へ | P02 | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | | 左へ | P03 | — | \bigcirc | 0 | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | | 右へ | P04 | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | 拡大をリセット | | RSO | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| FREEZE | オン | | FON | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | オフ | | FOF | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| MUTE | オン | | MON | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| | オフ | | MOF | — | \bigcirc | 0 | \bigcirc | 0 | \bigcirc |
| PIP | オン | | PIN | — | 0 | 0 | — | — | — |
| | オフ | | PIF | | 0 | 0 | _ | | — |
| | PIP子画面入力ソース | ビデオ | PIO | _ | 0 | 0 | — | — | — |
| | | S-ビデオ | PI1 | _ | 0 | 0 | _ | — | — |
| | PIPサイズ | 小 | PSO | | 0 | 0 | _ | _ | — |
| | | 中 | PS1 | | 0 | 0 | _ | | — |
| | | 大 | PS2 | | 0 | 0 | _ | | — |
| | PIP位置 | 左上 | PPO | | 0 | 0 | _ | | — |
| | | 右上 | PP1 | | 0 | 0 | — | — | — |
| | | 左下 | PP2 | | 0 | 0 | | — | — |
| (つづく) | | 右下 | PP3 | — | \bigcirc | 0 | _ | — | — |



RS-232C 端子を使って操作する(つづき)

| 分類 | 項目·状態 | | 選択コマンド | 調整コマンド | アナログRGB1 アナログRGB2 | デジタルRGB | ビデオ S-ビデオ | Y/Pb/Pr | 書画カメラ |
|----------|------------|-----|--------|--------|----------------------|------------|--------------|------------|------------|
| PIP | PIP音声入力ソース | 親画面 | PAO | — | 0 | 0 | — | — | — |
| (つづき) | | 子画面 | PA1 | _ | 0 | 0 | _ | _ | — |
| | PIP初期化 | | DRW | — | 0 | \bigcirc | _ | — | — |
| AUTO SE | Γ | | PAT | — | 0 | — | _ | — | — |
| 自動垂直台形補正 | | | PKA | — | \bigcirc | 0 | \bigcirc | \bigcirc | 0 |
| オーバーレ | 1 | オン | CON | — | \bigcirc | 0 | \bigcirc | \bigcirc | — |
| | | オフ | COF | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | — |
| 書画カメラ | ショートカット | | CDR | _ | \bigcirc | 0 | \bigcirc | \bigcirc | 0 |
| | 自動W/B | オン | CW1 | _ | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc |
| | | オフ | CWO | — | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | \bigcirc | 0 |
| | 照明 | オン | CL1 | — | 0 | 0 | \bigcirc | 0 | 0 |
| | | オフ | CLO | | Ó | Ó | Ó | Ó | Ó |

様 仕

| 本体部 | | 投写 |
|--|---|------|
| 消費電力 | 340W(スタンバイ時:20W) | レンズ |
| 質量 | 書画カメラ無し: 4.2kg | |
| | 書画カメラ付き: 5.0kg | フォース |
| 外形寸法(突起部含む) | 書画カメラ無し: 幅 338 ×高さ 101 ×奥行 268 mm 書画カメラ付き: 幅 338 ×高さ 101 ×奥行 323 mm | ズーム語 |
| キャビネット材質 | PC+ABS 樹脂および ABS 樹脂 | 書画 |
| 使用環境条件 | 温度:0℃~35℃、相対湿度:30%~70% | 撮影レン |
| ランプ | 高圧水銀ランプ | フォーフ |
| 投写画面サイズ | 32~300型 | ズーム語 |
| 投写距離 | 1.3~10.2 m | 感度 |
| スピーカー | 1 W (モノラル) | 撮像素- |
| 接続端子 | | 撮像部で |
| COMPUTER IN 1 端子 COMPUTER IN 2 端子 MONITOR OUT 端子 S-VIDEO 端子 | ミニDサブ15ピン アナログRGB / Y/PB/PR(兼用) DVI コネクタ アナログRGB / デジタルRGB(兼用) ミニDサブ15ピン アナログRGB / Y/PB/PR(兼用) ミニ DIN 4 ピン | 照明 |
| ●VIDE0 端子 | 1V(n-n) 750 BCAピンジャック | |

- VIDEU '师士 TV(p-p)、 / 5 11、 RUA ヒノンヤツン •AUDIO(L/R)端子 1.3V(rms)、22k Ω以上、RCA ピンジャック×2
- AUDIO IN 端子 1.3V(ms)、22k Ω以上、 *φ*3.5mm ステレオミニジャック
- •CONTROL端子 ミニDIN8 ピン(RS-232C)
- タイプB(USB 1.1) ●USB 端子

液晶パネル部

| 表示方法 | 透過型3板式 |
|--------|---------------------------------|
| パネルサイズ | 1.0インチ |
| 駆動方式 | TFT アクティブマトリクス |
| 画素数 | 786,432 画素(横 1024 ×縦 768 ドット)×3 |

レンズ部

| レンズ | ズームレンズ | |
|---------|-----------|-------------|
| | F=1.7~2.1 | f=33.6~42mm |
| フォーカス調整 | 手動式 | |
| ズーム調整 | 手動式 | |

カメラ部(書画カメラ付きモデル)

| 最影レンズ | F=3.1 f=6.4mm |
|----------|----------------------------------|
| フォーカス調整 | 手動式 |
| ズーム調整 | なし(被写体との距離で調整) |
| 感度 | 自動/手動 |
| 最像素子 | 1/2インチCCD |
| 最像部有効画素数 | 1,447,680 画素(横 1392 ×縦 1040 ドット) |
| 照明 | LED 照明 |

そ Ø 他



仕様(つづき)

付属品



別売品

交換用ランプ 型番 TLPL79

- 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。
- •本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材料名表示をしています。

保証とアフターサービス(必ずお読みください。)

保証書(別添)

●保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。 保証期間・・・・・ お買い上げの日から1年間です。ただし、ランプについては6ヶ月または使用時間1000時間の短いほうです。

補修用性能部品の保有期間

●液晶データプロジェクターの補修用性能部品の保有期間は製造打切り後8年です。
 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。
 ●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
 ●修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

アフターサービスやお問い合わせに関して

商品のアフターサービスはお買上げの販売店がいたします。 修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合 『東芝家電修理ご相談センター』 0120-1048-41 (365日・24時間受付)

※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

修理を依頼されるときは~持ち込み修理

70,71ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは電源を切り、必ず差込みプラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店 が修理させていただきます。

| ご連絡していただきたい内容 | | | |
|---------------|---------------------------------|--|--|
| 品名 | 液晶プロジェクター | | |
| 形名 | TLP790/TLP791/TLP790MJ/TLP791MJ | | |
| お買い上げ日 | 年月日 | | |
| 故障の状況 | できるだけ具体的に | | |
| ご住所 | 付近の目印なども合わせてお知らせください | | |
| お名前 | | | |
| 電話番号 | | | |
| 訪問ご希望日 | | | |

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていた だきます。

| | 修理料金の仕組み | | |
|------------------------------|---------------------------|--|--|
| 修理料金は | ま、技術料・部品代・出張料などで構成されています。 | | |
| 技術料故 | て障した商品を正常に修復するための料金です。 | | |
| 部品代修 | 5理に使用した部品代金です。 | | |
| 出張料 商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。 | | | |
| | | | |
| 便利メモ お買い上!: | ^{げ店名} でんわ () - | | |

長年ご使用の液晶プロジェクターの点検をぜひ!!

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることがあります。

| ご使用の際、このような症状はありませんか ●電源を入れても映像が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●変な臭いや音がする。 | ● ご使用中止● このような場合、故障や事故防止のた プラグを抜いて、必ずお求めの販売店 ご自分での修理・改造は危険ですので | \bigtriangledown | |
|---|---|--------------------------------------|------|
| ●水や乗物が入らた。 ●煙が出たりする。 ●その他の異常や故障がある | 液晶プロジェクターは、このように 正しくお使いください。 | ●電気容量やコンセント形状は、製品に 合ったものをご使用ください。 | 愛情点筷 |

液晶データプロジェクターに関するお問い合わせ

DPJ サポートダイヤル: 0570 - 888 - 450 (通話料は有料です) **受付時間: (月曜~金曜) 10:00 ~ 17:00** (12:00 ~ 13:00、年末、年始、祝日を除きます) サポートは日本国内に限らせていただきます。 携帯電話、PHS からはご利用いただけません。 発信者様側の自営交換機 (PBX) の設定によってはご利用いただけない場合があります。詳しくは PBX 設置業者や PBX 装置の取扱い元にご確認ください。

インターネットで情報を・・・

以下のホームページに最新の商品情報やサービス・サポート情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。

http://www.toshiba.co.jp/vis/

上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合には、お手数ですが東芝総合ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/)をご参照ください。

新製品など商品選び、お取扱いお手入れ方法などのご相談

(10) 0120-1048-86(365日・24時間受付)

携帯電話、PHSからのご利用は FAX

『東芝家電ご相談センター』

03-3426-1048(有料) 03-3425-2101(365日·8:00~20:00受付)

株式会社東芝

デジタルメディアネットワーク社 〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1 *所在地は変更になることがありますのでご了承ください。